

# “ゼロ”から始める静岡人生設計 ~by Life Plan Game~



キーワード

郷土愛・地域創生・産官学連携

## ○取り組んだきっかけと目的

本活動は「ここは未来塾 -TU can Project-」の助成を受け、学生が主体となった地域創生の取り組みである。若者の郷土愛を育むという目的で、静岡県に関する知識を得られるゲームを制作した。

静岡県は、転出者数が転入者数を4,658人上回っており、転出超過は全国ワースト8位である（2022年）。とりわけ、15～24歳の社会減が深刻で、若者が仕事や教育の機会を求めて大都市圏に移り住む傾向がある。また「やってみたい仕事や勤め先がない」という理由で、県外転出者のUターン就職も少ない（「若年層の県外転出者に対する意識調査」）。

学生は「地域経営論」などの科目で、こうした問題を学び、関心を高めてきた。同時に、彼らは静岡の恵まれた自然環境や気候、製造業における優位性等をよくわかっていた。そこで、地元の魅力を若者へ発信するという発想から、静岡をテーマにしたボードゲームの制作に至った。

## ○具体的な内容

学生の話し合いで、ボードゲームをすごろく式にすることに決めた。止まったマスには、静岡や浜松の魅力、豆知識を学べるイベントを用意した。また、各マスにQRコードを印字し、イベントに関連するウェブサイト参照できるようにした。ボードゲーム作成にあたり、主に2つの調査を行った。

### 1. 文献調査

書籍やウェブサイトを使い、県内の産業について調べた。

### 2. 聞き取り調査

・浜松市役所観光・シティプロモーション課

浜松市の観光スポットの魅力を教えていただいた。

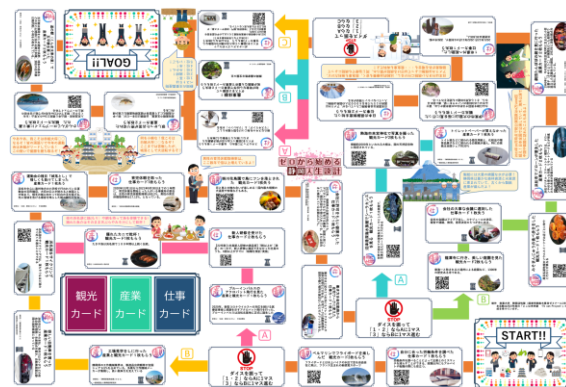
・トレフォイル社会保険労務士事務所

働くうえで知っておくべき制度、働きがいを聞き取りした。

上記の調査から、ゲーム内のマスおよび獲得できるカードのテーマを「産業」、「観光」、「仕事」に絞り込んだ。



学生の手で告知チラシと、ゲームの遊び方を説明する動画を作成したうえで、2023年12月21日に大学内で、2024年1月12日に都田中学校でイベントを開催した。都田中学校（対象学年：3年生）では、ボードゲーム、○×クイズを行った。学生が司会進行やタイムキーパーを務め、自分たちの創意工夫で「授業」を行い、その成長ぶりに驚かされた。中学生は、訪ねたい観光スポットの話に花を咲かせたり、タブレット端末でQRコードを読み取ったりと、あっという間の2時間を過ごした様子であった。なお、本活動は中日新聞（2024年1月26日付）も取り上げられている。



## ○今後に向けて

グループでの活動を通じて習得した、協調性、コミュニケーションスキル、スケジュール管理は、これから社会に出る学生にとって武器になると考えられる。また、足を使って学外の情報を集めたこと、かつ、自分たちの成果物が中学生に届き反応を目の当たりにしたことで、良い刺激を受けたという。地域と連携した調査活動、中学・高校と協働した教育活動に取り組む意義を改めて感じた。

経営学部 経営学科  
静岡活性隊（鈴木章浩ゼミ）

### 連携先

浜松市観光・シティプロモーション課  
トレフォイル社会保険労務士事務所  
都田中学校